

あなたの周りの出来事や
身近な話題をお待ちしています



わたしの顔より大きいおいもだよ

芦屋町老人クラブ連合会

10月27日、柏原にある長寿園の畑で芋掘り交流会がありました。これは、毎年、芦屋町老人クラブ連合会の皆さんが丹精込めて育てたサツマイモを、町内の保育所や幼稚園の園児などと一緒に収穫し交流を深めるもので、約900人が参加しました。子どもたちが掘りやすいようにと、老人クラブの皆さんがクワやスキで巧みに土を掘り起こすと、大きなサツマイモを見つけた園児たちが大声で喜ぶ姿が見られました。



芦屋のお店大好き！さあ、かんぱ〜い！

第7回筑前芦屋はしご酒祭り

10月27日から「筑前芦屋はしご酒祭り」が開催され、初日にはスーパーはまゆうの駐車場で、大勢の人が樽酒で乾杯しました。主催した芦屋町商工会によると「今回は会期を8日間にしたり、昼も楽しめる食堂やスイーツ店など幅広く参加店を募ったりと大幅にリニューアルした」とのこと。参加者からは「短時間で無理して店をまわらずに、じっくりと店の良さを味わうことができよかった」とのほろ酔い声も届きました。



永年にわたり、町政振興発展に寄与

平成28年度芦屋町功労者表彰

11月4日、平成28年度芦屋町功労者表彰が役場で行われました。本年度は、議会議員として町政の発展に貢献された横尾武志さん（山鹿）、消防団員として民生保全のために貢献された小野哲郎さん（芦屋）、スポーツなどの普及・発展に尽力された古長撓勇さん（高浜町）、町民の保健、健康づくりに貢献された貞安孝夫さん（高浜町）、柿木隆司さん（中ノ浜）の5人が表彰されました。



精一杯がんばる気持ちで感動を呼ぶ

第53回町内マラソン大会

11月6日、芦屋海浜公園の芝生広場わんぱーくで、町内マラソン大会が行われ、小学生から一般までの88人が出場しました。小学1～3年生は1km、4～6年生は2km、中学生以上は3kmを元気いっぱい最後まであきらめずに走ることができました。表彰式は同日、開催していた「祭りあしや」のステージで行われ、1年生の部で優勝した山本輝波さん（山鹿小学校）は「手を振って、足を上げて練習どおりに走った」と話していました。

せんそうさ 表千家千宗左御家元自筆の書画を描いた芦屋釜を初披露

芦屋釜の里



11月3日、芦屋釜の里で、表千家千宗左御家元が自筆された書画と花押を描いた芦屋釜の初披露茶会が行われました。

これは千利休を祖とし、茶道界を牽引する表千家千宗左御家元一行が、平成26年4月に芦屋釜の里に来園され、それが縁で翌年9月に表千家に芦屋釜を寄贈したことがきっかけとなりました。その芦屋釜は、御家元の自筆の書画を釜の胴部に描いた特別な釜で、御家元より同じ釜をもう1点つくり、芦屋町に所蔵してはどうかとの提案を受け、この度、その釜が完成したことから、お披露目茶会を開催することとなりました。

茶道具に茶道流派の御家元の花押が入ることは非常に特別なことであり、芦屋釜復興に取り組む芦屋町にとって、歴史的な出来事となりました。



歌い、踊り、笑ってステキなおもてなし

芦屋町国際交流パーティ

10月22日、町民会館で芦屋町国際交流パーティが行われ、JICA九州の外国人研修生など過去最多の17か国、30人が招かれました。九州共立大学の学生により、歓迎の意味を込めた沖縄エイサーが披露されると、太鼓や歌にあわせて会場の皆さんは一緒に踊り満面の笑顔。また、外国人の皆さんに法被を着てもらい、皆で輪になって炭坑節を伝授しながら踊ると、会場はまさに国境を越え、一体感に包まれました。



親善都市の佐野市と文化交流

佐野市・芦屋町文化交流事業

茶釜を縁とする芦屋町との親善都市である栃木県佐野市とは、青少年を中心とした交流を続けてきましたが、さらに親交を深めるため、成人の文化交流もはじまりました。10月26日・27日には、佐野市より岡部正英市長ら（写真左端）11人が芦屋町を訪れ、芦屋釜の里での茶会やあしや砂像展の見学など、芦屋町の文化や観光スポットを巡りました。芦屋釜と天明釜のさらなる発展のため、お互いが交流を深める良い機会となりました。